

6. 地産地消優良活動表彰事業中央審査対象者の概要

団体名：JAみどりの青年部田尻支部

代表者：委員長 澤田 巧

所在地：宮城県大崎市

〔ポイント〕

平成11年から有志による自校方式学校給食センターへの主要食材供給を開始。平成15年4月地域内3幼稚園，3小学校，1中学校へ給食を一括提供する大崎市田尻学校給食センター（マザーズキッチンたじり）の完成に併せて，組織的供給を開始し，現在野菜の供給率は60%。

【活動内容】

1. 供給当初から，田尻産直委員会とのタイアップにより，栽培記録管理を徹底する一方，次代を担う子どもたちの健全な発育のため，使用農薬のマニュアルを作成するなど「安全・安心」な食材を提供。
2. 地場食材の理解を深めるため「食材探検ツアー」の活動を開始。田尻地域内小学校の子どもや保護者との交流を深めており，将来消費者となる子どもたちとの価値の共有を長期的な視点で進める。
3. 大崎市田尻学校給食センターは，食品残渣の堆肥化，給食施設内の見学等「食育の拠点」として活動。

【活動の成果】

「未来の子どもたちへ」をスローガンに始まった地元食材の学校給食への供給率は現在，宮城県の目標28%をはるかに超え，平成18年度で53.6%にまで達成。

また，野菜にとどまらず，加工品，調味料にいたるまで地場産品が使用されるにいたっているほか，毎日学校給食に田尻米の米飯が提供されている地域は他にはないと自負している。JA管内の他の地域でも同様の活動がはじまり，その波及効果は大きい。

利益の追求だけでなく，地域に根ざした活動として各世代にわたり地域食材の価値や意味を理解されたことが大きな成果。

部員には中堅後継者や新規就農者もあり，地域農業の担い手としてこのような活動が行われることは素晴らしい。